

令和6年度第2回学校運営協議会長情報交換会 議事録要旨

日 時 令和6年11月19日（火）14時00分～16時00分

場 所 二宮町役場 第1会議室

出席者 出席 9名

- ・二宮小学校 池田 学校運営協議会長、和田校長
- ・一色小学校 橋本 地域学校協働活動推進員、中西校長
- ・山西小学校 國分 学校運営協議会長、井上 地域学校協働活動推進員
- ・二宮中学校 石井 学校運営協議会長兼地域学校協働活動推進員、伊庭校長
- ・二宮西中学校 藤田校長

町 5名

- ・教育長、教育部長
- ・教育指導課
倉重課長、鈴木主任主事
- ・生涯学習課
山下課長

欠席 5名

- ・二宮小学校 山内 地域学校協働活動推進員
- ・山西小学校 北川校長
- ・二宮西中学校 泉 学校運営協議会長兼地域学校協働活動推進員
- ・高谷課長代理（指導主事）
- ・安藤指導班長（指導主事）

傍聴者 0名

配布資料

- ・次第
- ・資料1 令和6年度 二宮町学校運営協議会長情報交換会 出席者名簿
- ・資料2 令和6年度 にのみや学園の主な取り組み
- ・資料3 にのみや学園通信
- ・資料4 これからの学校と地域（文部科学省）
- ・資料5 事前確認シートまとめ

議事録

1 開会	
2 教育長挨拶	
・お忙しい中、寒い中、ご出席くださりありがとうございます。 ・各学校とも今年度の計画に基づき様々な活動を実施していただき、ありがとうございます。 ・すべての子どものために、この後の学校運営協議会長等情報交換会をお願いいたします。	
3 にのみや学園の取り組みとコミュニティ・スクール	
事務局	〈 資料の説明 〉 資料 2 … 9 月 25 日に中学校の授業見学を小学生が行った。 10 月 24 日、中学生の総合的な学習の時間の授業発表を見学した。 2 月 19 日、部活動の見学を予定している。 資料 3 … 主に、にのみや学園で行った交流会の内容を説明している。 資料 4 … 学校の運営と必要な支援について協議する合議制の機関。
4 情報交換	
(1) 協議テーマ「認知度をあげるためにはどうしたらよいか」	
事務局	〈 資料 5 の説明 〉 ・前回の中で、2, 3 回を通して協議テーマを元に事前確認シートにご協力いただき、分析をさせていただいた。 ・共通しているのが、認知不足から生じている問題が多いように感じた。 ・各校でどのような PR をしているのか、その方法を教えていただきたい。
二宮西中	ほとんどやっていないかもしれない。
二宮小	・環境整備部会で、菜の花の植え付け等一緒にやっていただいた旨を学校ホームページで掲載している。 ・学校だよりで、ダイジェスト版等で掲載している。
一色小	・入学準備説明会で、会長から話をしていたり、普段の活動を子どもたちに知ってもらうために、英語研修会等で話題にするようにしている。 ・校内での学校運営協議会の掲示を常設している。 ・地域学校協働活動推進員（以下、推進員）の事になるが、インスタグラムで発信をしている。
二宮中	・学校だよりやホームページで紹介している。 ・地域へ周知の前に、まず、校職員が学校運営協議会というものを理解するところに重点を置いた。学校運営協議会委員は地域の方に加えて、学校長、教頭、教務、事務主査、学年主任、特別支援学級主任とし、さらに学校研究主任や各行事担当の教職員も協議会に参加している。 ・昨年 3 月のマルシェの時に、学校運営協議会の一認知度が低いので知ってもらうために、綱引きを企画して、来ていた人たちに伝えていただいた。 ・PTA において、PTA 広報に学校運営協議会のことを掲載してもらえるようお願い

	した。
山西小	子どもたちへの紹介をしている。明日 20 日の朝、地域の方への感謝として学校運営協議会のことを紹介するような時間を設けていただいている。
事務局	一部でも各校の活動を町のホームページでも載せられないか検討しているが、アイデアはあるか。
二宮小	- イベントを地道にやっていって、その場で二次元コードを示してアクセスしていただく。 - イベントで二次元コードがポイントだと思う。(例えば、毎朝の登校で立つだけでも立派なボランティアですというような内容) - そこでコアなメンバーを集めて認知度を高めていくのが良い。
山西小	- イベントでなくても、入学式等の保護者が関心がある行事で投げかけるのが良い。 - 口コミは大事だと思うので、1 度携わってくれた人が次の方を呼んでくださるのが安心感もあって良い。
二宮小	既存のイベントで良いので、やっていったら良いと思う。
一色小	- 誰が対象かによって手段が変わるので、一緒にしないようにした方が考えやすい。 - 皆さんそれぞれ活動している中で、他にこんな活動をやっている、もう少し顔を見えやすくする等を工夫も大事。 - 今日も保護者の方が授業参観に来てくれたが、他にサポーターには先生や推進員から耳打ちされる。そこでお話するとサポーターになりますということもあるので、その現場でやっていくのは大事。 - サポートしていただく人をただ増やせばいいものではないので、効果的な声かけができるところで関われる人を増やしていきたい。
二宮小	- 学校管理のボランティアバンクを検討している。 - 個人情報については、学校用のクラウドでないサーバー管理。 - このモデルが上手くいけば、シェアしていきたい。
山西小	- 講師の発掘が上手くいかない。総合学習の講師にお願いする時に、推進員とは何か一から話したので、そこで何か分かりやすい概要があれば良いと思う。 - 学校運営協議会が主体となっている各学校の行事は何があるのか。 - 山西小学校では、推進員の講師関係と放課後子ども教室がメインになっている。 - 協働って地域が学校を支援しているだけではないと思う。学校から地域もあって、山西小学校は推進員が学校を支えていくくらいしかできていない。一色小学校みたいに地域を巻き込んでということはできていない。
二宮小	- 我々のゴールは、コミュニティスクールの認知度を高めることではなくて、子どもたちの教育のためにやっていくこと。 - ボランティアを集める事を目的に、認知度を高めていきたい。 - ボランティアをしたいというパワーのある人たちを集めていくことが役割。 - そのために、既存イベントを用いて宣伝していきたい。同時に個人情報をどう扱うか、誰が管理するか棚卸しはどうするかを考えていく必要がある。
一色小	それは推進員の仕事。学校運営協議会は、そういった活動について精査していく場なの

	で、主体的にはならない方が良いと思う。 ・はらっぱマルシェでコミュニティスクールブースを出して相談を受ける等が良いと思う。
二宮中	・学校を核とした地域を盛り上げるのが推進員の仕事だと思っている。 ・全町民に知ってもらうために、周知する必要がある。 ・学習相談に来てもらっている学習ボランティアの方から、次にこういう人がいるという紹介ができると良い。 ・学んだものを活かせる場になれば良いと思い、推進員として学校と調整しているところ。 ・どのように仕組みを作り上げていくのか考えると、認知度は必要で、なぜそこに関わるのかという思いを持ってきてくれる人たちが必要。
一色小	・スマイルアート展を3回続けている。学区の中のアーティストに児童も出店している。 ・個人団体で16件の参加はあったが、地域で活動していることは出向かなくてもできることはある。 ・すべての方が全部のサポートで入らないが、毎回作品を出してくれることも一つの関わり、そこから別のサポートに入っていただくのも一つの関わり。実際にスマイルアート展にも放課後子ども教室にも参加していらっしゃる方もいるので、そのくらい幅があるのはすごく良いことだと思う。
二宮小	・新しいことをやらずに、既存のイベント等でできることをやっていく方が良いのではないかな。 ・大きな二次元コードを作っておき、クリックした際にどうやって情報を例示するか、誰が管理するのかを考えるのが良いかと思った。
山西小	・ドレミファコンサートがあったが、そこで人がたくさん来ているので、そこで声をあげれば良いと思った。 ・年度当初にアンケートでボランティア募集を行い、10名集まったがもう少し欲しかった。
二宮小	・学校運営協議会で高齢者の方がいるが、子どもの元気な声を聞いて、何かやりたいと言っているが、どうすれば良いか分からないとも言っている。 ・戦争の話や昔はこうだった等の話でも良いのではないかなと思う。授業で活躍していただくと先生も楽になっていくと思う。
一色小	・学校運営協議会や推進員それぞれやれることを結んでいく。そのひと手間がとても大事だと思う。 ・定期的な周知もとても大事。1, 2回の周知だとあまり効果がない。
山西小	・5校のイベントがあって、その周知だと良いのではないかな。
二宮中	・二宮町の学校運営協議会として、綱引きを教育委員会後援でやりたい。5校でやるのは大変だけれども、まずはやって分析してみたい。
二宮西中	・学校運営協議会は、それぞれの学校の温度差があるのは当たり前だと思う。 ・色々やっていただくのは、かなり厳しい気もする。質問したり意見したりする程度にしておいた方が良くもしいない。持続可能かどうか検討が必要。

	・ある程度充て職の枠は必要なのではないか。公募だったら、手を挙げないかもしれない。
二宮小	・まずはできる範囲でやっていた方が良くと思う。少数でも同士を見つけていきたい。
二宮西中	・山西小学校学校ホームページで、学校運営協議会というカテゴリを作ったが、掲載する内容とタイミングが難しかった。
一色小	・学校運営協議会委員同士でさえ良く知っていない。委員が一度に介して、研修する等して、皆が当事者意識としてできるように出来たら良いなと思っている。
二宮中	・3月1日の土曜日に、はらっぱマルシェで綱引きを計画している。中学生が参加するが、こういう人たちがやってくれたんだというような家庭での話し合い等で、広くつなげていきたい。 ・学校にチラシを配布していただくが、そこで学校運営協議会ではこのようなことをやっていると言葉があった上での配付があると有難い。 ・二宮西中学校で祭り@西中があったので、外でのイベントも良いかと思っていた。 ・学校は休日でも部活動等があり、祭り等のイベントを開催するのはなかなか難しい。前年度からの提案や計画が必要である。
一色小	・学校でやると学区の方が対象になってしまうかもしれないので、町全体のイベントにこちらから出向くのも有かと思う。
二宮小	・昨年はらっぱマルシェに参加して、地域が一つになって元気になったという感じがした。温度差はあるが、いろいろな方の思いがあるので、進んでいければ良いと思う。 ・人材の話があったが、今は二宮小学区の方が中心になっているが、他の方にも共有できれば、もっと広げられれば良いと思う。 ・次回の会議が2月12日だが、そこでチラシを配るのは遅いと思う。
山西小	・12月の学校運営協議会で共有出来たら良いので、その時期に配ってもらえたらよいかも。
二宮小	・そこでチラシを共有しそこでアピール出来たら良い。 ・2月だとマルシェまで3週間くらいしかないので、去年こんなものがありましたということで良いのではないか。
二宮中	・そのチラシを配る時に、教職員が一言学校運営協議会のことを言ってくると良いのではないか。
二宮小	・まず配ること、できれば教員等当日誰かに来ていただければ良いのではないか。
一色小	・お互いを知る機会はいっぱいあって良いと思う。
事務局	・チラシを作るのはメインは二宮中なのではないか。
山西小	・一緒にやるなら、来年度から時間をかけてやっていく必要があると思う。
一色小	・何も知らないのは良くないので、研修会があると良い。 ・5校順番にやっていく。お金も5校で出し合えば、良いものはできるのではないか。
事務局	・この内容については第3回にも引き続きます。 ・来られていない学校の先生には後ほど共有させていただきます。
4 情報交換 (2) 各校の取り組みについて	

二宮小	・ボランティアバンクを検討している。 ・情報の発信方法は学校の WEB サイト、管理は学校サーバー。 ・紙ベースでは個人情報の定義を書いたものに、児童の名前とクラス、そして何をボランティアしたいかを記載していただく。 ・毎年更新していく予定。 ・放課後子ども教室等も学校運営協議会メンバーが固定されており高齢の方もいるので、そこが問題点。 ・学校運営協議会委員が高齢化してきている。そのあと引き継ぐ方がなかなかいない。探すのが難しい。 ・次の方をどう探し、繋げていくのが課題。
一色小	・授業サポートでは、9～11月で、2年生の図書館見学の付き添い、4年生の手話サークルの運営、1年生の ICT タブレットサポートがある。 ・今調整中の事として4年生の福祉授業で盲導犬ユーザーさん、高齢者疑似体験車椅子体験で二宮町社会福祉協議会との調整、3年生の豆腐作りで三河屋さん、2年生の町探検で百合が丘商店街郵便局が進行している。 ・スマイルネットルーム火曜日中昼休みの開放、友情の山の見守り、昇降口やトイレの飾り付けや掃除サポート等も行っている。 ・運動会では、学校運営協議会で受け付けしている。 ・60周年で、地域の方が参加できる玉入れの企画運営をした。(今年のみ) ・スマイルアート展は、3回目を迎えた。現在は登録制度になって、紙ベースで名前、住所、電話番号、メールアドレス、やってみたいことを書いていただき、専用の名札をお配りしているところまでできた。そのサポーターさんでLINE グループを作り、こういうことをやったら良いということも共有できるようにしている。 ・一昨日、おやじの会がクリスマスイルミネーションの飾りつけをやってくれた。 ・子どもたちからすると教職員以外の方がいるのが当たり前になってきている。 ・子どもはコミュニティスクールは知らないかもしれないけど、色々な大人が関わっている。 ・それが子どもたちの豊かな学びにつながっている。
山西小	・具体的な支援として、家庭科でトートバック製作、5年生のミシンボランティアが終わった。また、6年生の音楽で演奏指導(剣の舞)、職業講話で3人の方に来ていただいた。 ・「あきのおもちゃをつくろう」で製作補助、2年生の町探検の補助に入る等今後予定している。 ・放課後子ども教室では、去年度と違い学年で人数が分かれたので1回の参加人数が半減していて、スタッフも減っているが、スムーズに行われている。 ・ボランティアの募集で、各部会で、電話番号のみ聞いて募集した。 ・学校の電話を使わせていただくとなっていたが、家にいる時間だったので、時間が合わなかった。1回で出てくれたのは1人のみ。留守電に吹き込んでいたが、なかなか反応がなかった。上手い方法がないかと感じる。

一色小	・最初から Google アカウントを取得し、個人のメールにならないようにしている。 ・今は、LINE グループを作り、情報を流している。
二宮中	・学習支援部会は、2 学期末テストの学習相談を 3 年生は 1 週間前から、1，2 年生は 2 週間前から行っている。 ・環境整備部会では、校内の施設点検で学校が気づかなかったことを地域の方に指摘していただいた。町の防災安全課の協力で行う防災教室を 2 月 25 日に実施予定。 ・地域活動部会では、10 月 27 日スポーツフェスティバルに中学生マルシェとして参加した。3 月 1 日には、東大果樹園跡地ではらっぱマルシェに参加する。 日頃の授業に地域の方に入ってもらい、教職員の希望にかなったものになっている。剣道の授業やミシンボランティアについても、とても助かっている。 ・中学校は、小学校と違ってボランティアが入る基盤がないというところからのスタートだったが、3 年間でここまで軌道に乗せてきた。 「地域に入ってもらって良かった」という教職員の実感を積み重ねている。 ・3 年生は入試が終わった後、地域清掃を計画しているなど、少しずつ地域貢献というところで学校も動き出している状況。 ・突発的なイベント開催の提案は学校の負担が大きいため、年度当初からの調整が必要になる。
二宮西中	・西中では、推進員を通すことなく、それぞれの先生と地域の方がつながっている。 ・推進員の仕事と言ったら、お祭りの時の太鼓等ご協力いただく団体とのつながりくらい。 ・二宮中のように部会を作っていない。 ・祭り@西中、教育長様、町長様、他校の先生方、町職員、町議員、県議の方にも来ていただき、ありがとうございました。 ・目的は「学校・家庭・地域が一体となり 地域ぐるみで子どもを育てるコミュニケーションを目指して…」となっている。 ・およそ 500 人に来場していただいた。 ・売れ残りを心配されていたが、思ったより早く売れてしまった。 ・お囃子、神輿の体験があり、西中フェスとして、歌やダンスを行った。最後にキャンプファイヤーも行った。 ・他に用事があった生徒は来ていないが、来られる人はかなり来ていた。 ・多くの参加者が楽しめ、来年の開催も望んでいる声が多かったことから、目的に迫れたと考えている。 ・地域コミュニティ活性化の一つの取り組みと言えたのではないかと考えている。 ・文化の伝承という対策にも宣伝を含め良かったと考えている。 ・他校生と交流ができたのは、にのみや学園の良さなのではないか。 ・チケットが残り 8 枚になったとき、小学校 6 年生が「僕たちがこの 8 枚を買い占めちゃったら、後ろの子どもとママが買えないから」と言って、チケットを後ろの小さい子を連れた親に譲ってくれた。

	・開催のために、担当者が非常に多くの時間を費やしている。各団体への協力依頼の難しさもあるので、学校運営協議会のあり方を再確認する必要がある。 ・告知方法は、チラシを各校に配付させていただき、校内に大きなポスターの掲示、広報への掲載等をしていた。
4 情報交換 (3) その他	
	特になし
事務局	＜ 次回について ＞ ・次回の内容を同じ内容を引き続き、同じ資料でやらせていただく。 ・次回の開催日は、2月12日（水）。 ・議事録は、皆様にご確認いただきますので、ご協力のほどお願いいたします。
	閉会